

新郎新婦の想いに寄り添い
唯一無二の空間演出に情熱を燃やす

パレスホテル東京 渡部勝総支配人と
「MUKU」エグゼクティブアートディレクター・MASSAの対談が実現。
ウェディングの空間演出に対する思いについて、語った。

— 2012～2017年の5年間で、約4800組のカップルがパレスホテル東京で
式をあげたとうかがいました。ウェディングのお客様からの反響はいかがですか？

渡部総支配人(以下、渡部)：「ハードウェアとロケーションも含め、パレスホテル東京
ならではの世界観の中で、唯一無二の魅力を評価していただけだと思います。そ
して、口コミの評判に興味を持っていただけるケースも少なくありません。大きな特徴
としては、ご友人などの挙式に列席されたお客様が、ご自分の式でも当ホテルを利用
してくださること。以前はお友だちと同じところで式をあげないのがスタンダードで
したが、ありがたいことに“列席してとても気に入ったので、私もここで式をあげたい”
と、選んでくださる方が増えています」



左：渡部総支配人
右：MASSA

— MUKUが手掛ける空間演出については、どんな印象をお持ちですか？

渡部：「MASSAさんが表現するお花は力強く、“美しい国の、美しい一日がある。
(Experience the Heart of Japan)”という、パレスホテル東京のブランドコンセプト
にも合致していると思います。ウェディングシーンの中で、装花はとても重要なファク
ターですね。MASSAさんの作品を初めて拝見したときに、本当に情熱的で素敵だ
と感じたので、パートナーとなれてよかったです」

MASSA：「そんなふうに思っていただけで、ひたすらうれしい限りです。ありがとう
ございます」

渡部：「知人の紹介で初めてMASSAさんとお話したとき、すごくパッションにあふ
れた方だなと。実際に作品を見る前でしたが、この人と一緒にモノづくりをしたらすご
く素敵なのがで上がるのだからと、直感的に思いました。MASSAさんの人間力が
惹かれて、一目惚れのような感じでしたね」

MASSA：「大変光栄です。改めてやる気がみなぎってきました」

渡部：「ただ、アーティストの方はご自分の世界観を持っていらっしゃるものでは
よね？なので、お客様から細かいオーダーがあった場合に、自分の世界観を貫くのか、
それとも要望に柔軟に対応されるのか…という部分は、実は少し心配でした。余計な
心配でしたが(笑)。さまざまな角度から新しい表現をされていて、お客様にも好評
いただけていると思います」

MASSA：「リクエストに寄り添いつつ新しい表現をする…というのは、まさに日々意
識しているポイントです。僕は普段花をいける上で、“できないと言わない”と決めていま
す。たとえ予算が少額で使える花が限られていたとしても、表現方法は無限。花だけを
素材にする必要はありませんからね。極端な話、ご結婚されるおふたりを語れる何か
があれば、花がなくてもいいかもしれない。そこが非常に面白いところもあります」

渡部：「なるほど。お客様のエピソードからさまざまなイメージを引き出すんですね」

MASSA：「そうですね。僕は花をいけるの“いける”には、4つの漢字が当てはまると考
えています。普通は“生ける”や“活ける”ですが、MUKUでは“創造る”、“変化る”も“いける”と
読むんです。自分もまだ修行中の身ですが、この4つの“いける”はすごく意識しています」

— 演出イメージを膨らますために、
どういった点を重視してお客様にヒアリングを行うのですか？

MASSA：「好きな色や花、二人で行った旅行先…など、どんな些細なことでもいいの
で、式をあげるお二人のキーワードになる言葉をできるだけ多く拾うようにしていま
す。そのキーワードから出てきたイメージを、花やアイテムでどう表現しようかと考えて
いくので、会話中にどンドン筆が走っていくんですね。お二人の会話から生まれたイ
メージをイラスト化して、お見せしながらご提案を行いますので、“こういった基本形
がありますが、いかがですか？”みたいな話には絶対になりません。これまでMUKU
では、二つとして同じものを作っていないはず」

渡部：「お客様の思いをよく汲まれているから、どれも強烈な印象を残す作品になっ
ていらっしゃるのかもしれないですね」

— パレスホテル東京の、今後のウェディングに対するビジョンをお聞かせください。

渡部：「今後も新しい提案がどんどんできるといいですね。ホテルのハードウェアは
開業したその日から劣化していくものですから、そこにどんな付加価値をつけ、クオリ
ティのステージをどう上げていくかがカギになります。そういった意味でも、MUKUさ
んのような独自の創造性をお持ちのパートナーさんのお力が必要だと考えています。
パレスホテル東京は全面建替えを経て、フルリニューアルオープンから6年目を迎えます。
ウェディングでもさらに充実したものを皆様にお届けできるよう、これからも懸命
に取り組んでいきたいと思っています」

MASSA：「私たちがそれぞれに合わせて、一丸となってチャレンジしていきます。そして
MUKUはお客様とともに、常にウェディング空間演出の最先端を走り続けていきたい
です」



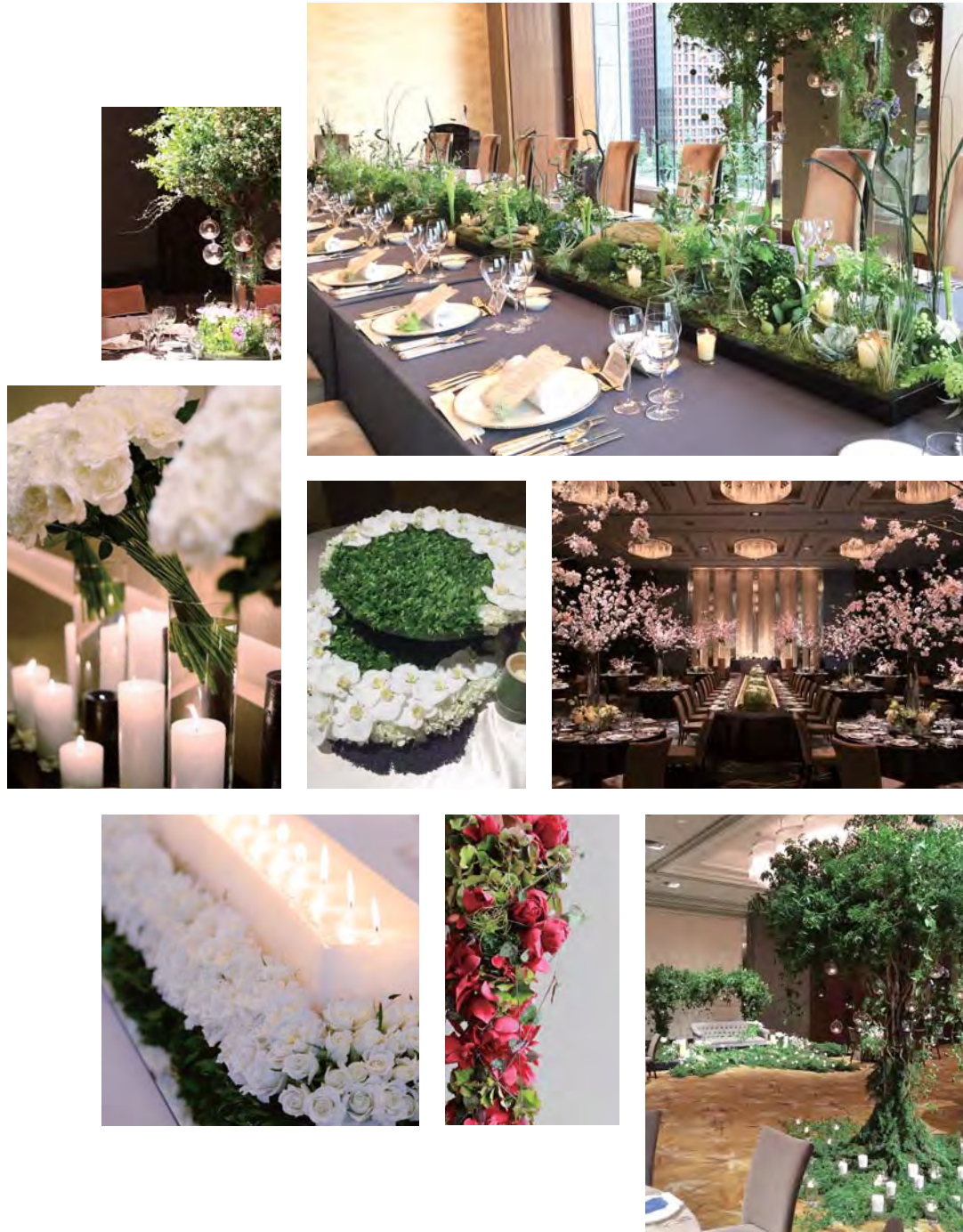
渡部 勝(わたなべ まさる)
パレスホテル東京 常務取締役総支配人。
1987年に株式会社パレスホテルに入社。
2012年のホテル開業時より総支配人を務める。



MASSA NAKAGAWA
1985年に渡米し、NYでフラワーデザインを学ぶ。
2004年に独立し、(株)MASSA & ARTISTSを
設立。2012年パレスホテル東京「MUKU」設立。



THE LATEST MUKU



MUKU・・・それは、無垢。
けがれもなく、混じりけもなく、どこまでも純真なもの。
お二人の新たなストーリーの始まりにふさわしい、
無色透明のステージです。
これから思い思いの色に染め上げていく未来に、
まずはどのような花を咲かせるのか。
大切な日にお集りいただくすべての方に、
その原点をしっかりと見届けていただくため、
MUKUは最も特別な時間と空間を演出いたします。
本物の気品、自然の美しさ、そしてお二人らしさに、
忘れぬ独創的な印象をつけ加えて。
いつの時代も、最高のおもてなしと思い出をお届けしている、
「パレスホテル東京」のオンリーワン・ウェディングです。